



mediba

報道関係 各位

News Release

2009年9月17日

株式会社mediba

medibaモバイルリサーチ 「外食と内食」に関する調査を実施

～最近1年間で外食頻度が「減少した」人は全体の40.5%
外食頻度が減少した理由は「収入減」「在宅時間の増大」～

株式会社 mediba(本社:東京都港区 代表取締役社長:塚田俊文 以下mediba)は、自
社が保有するリサーチ専用会員を対象に、「外食と内食」に関するモバイルリサーチを実施しまし
た。

■ 調査概要

- ・調査方法:mediba 保有会員(au 携帯電話ユーザー)に対してモバイルで調査
- ・調査対象:全国の男女20～50代
- ・調査地域:全国
- ・調査目的:景気の悪化に伴う、所得の減少等により外食ではなく、家の中で食事をする内食需
要が高まっている。そこで、本調査では実際の外食と内食の実情を明らかにすると共
に、大手外食チェーンが展開するデリバリーサービスの利用実態を明らかにすることを
目的とする。

・調査期間:2009年8月10日～13日

・有効回答数:2,400人

■ 調査内容

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| Q1.最近1年間での外食頻度の変化 | Q2.外食頻度が増加した理由 |
| Q3.外食頻度が減少した理由 | Q4.外食する理由 |
| Q5.内食する理由 | Q6.デリバリーサービス利用経験/利用ジャンル |
| Q7.外食チェーンデリバリーサービス利用状況 | Q8.デリバリーサービスの注文方法 |
| Q9.配送料を「気にする」か | Q10.配送料次第で「注文をためらう」か |
| Q11.配送料の許容金額 | Q12.デリバリーサービスの1回当たり利用平均単価 |
| Q13.家族構成 | Q14.同居人数 |

■ 「外食と内食」に関する調査および結果要約

本調査では、大手外食チェーンが展開するデリバリーサービスについては以下の商品を取り上げた。「すかいらーくルームサービス」、「ココイチの宅配」、「出前館」、「お届けケンタッキー」、「ぐるなびデリバリー」、「楽天デリバリー」、「セブンミール」を取り上げ、居住地域・性年代・同居人数ごとに分析を行い、特徴を明らかにした。

1. 外食頻度の変化とその理由

最近1年間の外食頻度の変化状況は「増加した」と回答した人が23.0%、「減少した」と回答した人が40.5%。増加理由の上位2つは「行きたいお店があるから」と「家にいる時間が減ったから」である。逆に減少理由の上位2つは「収入が減ったから」と「家にいる時間が増えたから」である。

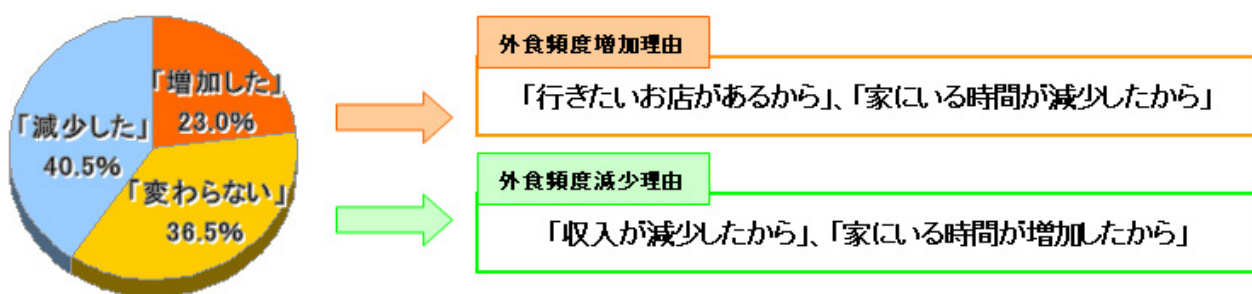


図1. 外食頻度の変化とその理由

2. 外食チェーン店が展開するデリバリーサービスの利用者の特徴

外食チェーン店が展開するデリバリーサービスの上位4つをエリア、性年代、世帯構成の3つの軸から比較したところ、エリアでは主に関東、東京地域で利用者の割合が高い。「すかいらーくルームサービス」と「お届けケンタッキー」は女性30～40代の利用者が多い傾向で、同居している人数が多い世帯ほど利用されている傾向にある。「ココイチの宅配」と「出前館」は主に男女の20代に利用されており、1人暮らし等の同居人数の少ない世帯で利用されていることがわかった。

表1.外食チェーン店が展開するデリバリーサービス利用者の特徴

	主な利用されているエリア	コア利用・性年代	コア利用・同居人数
すかいらーく ルームサービス	関東・東京 東海・北陸	女性・30～40代	同居人数が多い ほど利用
ココイチの宅配	東京・九州 沖縄	男女20代	同居人数が少ない ほど、利用
出前館	関東・東京	男女20代	同居人数が少ない ほど、利用
お届け ケンタッキー	関東・東京	女性・30～40代	同居人数が多い ほど利用

3. デリバリーサービスの配送料金

配送料金に関して、注文する際に「配送料金を気にしている人」は 81.9%。また、配送料金によって注文をためらう人の割合(よくある+たまにある・の計)は 81.5%であり、デリバリーサービスにおいて「配達料金」が商品の注文に左右する傾向にあることが明らかになった。

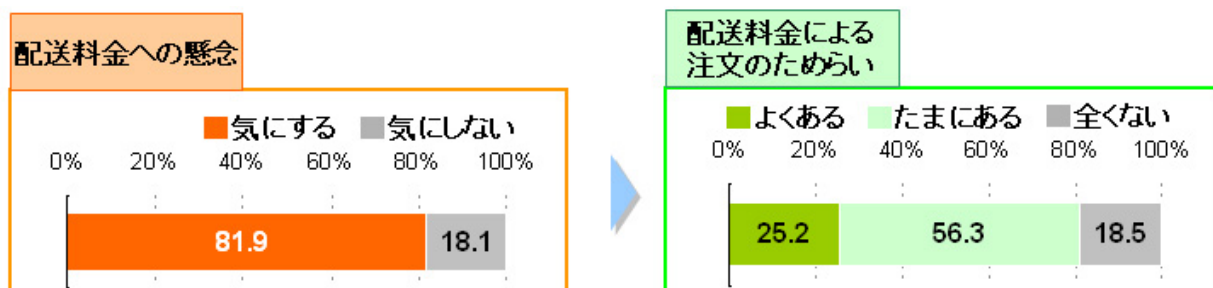


図2. デリバリーサービスの配送料金

■本件に関するお問合せ先

株式会社 mediba(メディーバ) マーケティング部広報グループ 野尻 TEL:03-5572-7566
リサーチビジネス部 坂本・加藤 TEL:03-5572-7578

■掲載データの引用・転載について

この資料は、(株) mediba を出展元とし開示すれば自由に引用や転載をすることができます。
調査データの転載・引用をご希望の方は、マーケティング部広報グループ 野尻までご連絡下さい。

<株式会社 medibaについて>

株式会社 medibaは、KDDI 株式会社 が提供する au 携帯電話と PC が一体化したポータルサイト「au one」の企画・開発を核に、「au one」の広告事業を展開しています。「au one」を機軸に、au 携帯電話の機能を包括的に活用したソリューションの提供によって企業のマーケティング活動をサポートする、さまざまなサービスを提供しております。

会社名	: 株式会社 mediba	
会社設立年月日	: 2000年12月6日	
所在地	: 東京都港区六本木一丁目6番1号 泉ガーデンタワー8階	
URL	: http://www.mediba.jp/	
資本金	: 10億3500万円	
代表者名	: 代表取締役社長 塚田俊文	
従業員数	: 195名(2009年4月現在)	
株主構成	: KDDI 株式会社	51%
	: 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	32%
	: 株式会社アサツー ディ・ケイ	7%
	: 株式会社電通	4%
	: D・A・コンソーシアム株式会社	4%
	: 株式会社デルフィス	2%